

介護サービス相談員派遣等事業

介護サービス相談員をご存じですか？特別養護老人ホームなど、高齢者の入所施設を中心に訪問し、利用者の日常的な相談に応じて、施設との橋渡し役をしている皆さんです。今年2人が加わり、現在は7人で活動しています。今回は、その介護サービス相談員の皆さんにお話を伺いました。

介護サービス相談員の活動を通じて感じていることは？

■堀出 和子さん

前任の相談員が高齢になり、交代の誘いを受けたのが始めたきっかけです。

訪問した時に「待っていたよ。」と聞いていただけると、とても嬉しいです。皆さん、生き生きと昔の話をされます。私たちの活動報告が、施設の方にとって、利用者を変えて知るきっかけになればいいですね。外部の人が定期的に訪れることで、施設にも良い刺激になると思うので、具体的な要望が聞けなくても、訪問することに意味があると感じています。

■日野 昭義さん

自宅近くの施設へ訪問する相談員を探していると聞いたことがきっかけで活動を始め、今年で14年目になります。

職員が普段から利用者によく声をかけている施設では、利用者の顔つきが明るいなと感じます。ただ、一人ひとり十分に接する時間をとるのは難しいと思うので、相談員がその時間を少しでも補えればという気持ちで活動しています。相談員を含めて、様々な場面で施設と関わりを持つ方が増えるといいですね。

■三宅 明さん

民生委員をしていたこともあり、相談員をしないかと声をかけていただき、18年前から活動をしています。

1回の訪問は約2時間です。まずは雑談をして、安心して話せるような関係を築いてから、要望などを聞いています。

「あの人が話を聞いてくれるよ!」とほかの利用者に勧めていただくこともありますよ。その反面、訪問している施設の職員でも相談員の存在を知らない方がいます。相談員のことを皆さんにもっと知ってほしいです。

介護サービス相談員は、所定の研修を修了した方に、松阪市から依頼をして活動していただいています。活動に興味のある方は、介護保険課までお気軽にお問い合わせください。

【問】 介護保険課 53-4190